

平井川流域連絡会（第7期）第2回全体会

議事録

日時：平成25年3月25日（月） 午後7時～午後9時

場所：あきる野ルピア3階（研修室）

委員出席者

座長

副座長

公募委員 4名

行政委員 4名

次第

1. 開会
2. 議題
 - (1) 第7期前期の活動報告
 - (2) 平成25年度環境調査の予定
 - (3) その他
3. 閉会

配布資料

1. 次第
2. 第7期（前期）活動報告
3. 平成25年度環境調査の予定
4. 第3回小委員会議事録
5. しゅんせつ工事の予定

1. 開会

○事務局 本日は皆様お忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。
ございます。

本日は次第の通り、まずは、第7期（前期）の活動報告についての締めをやらせていただきます。2つ目に平成25年度環境調査の予定、3つ目のその他は平井川で浚渫工事を予定しているので、その説明をさせていただきます。資料は資料1（1-

1～1-4)、資料2(2-1、2-2)、資料3、資料4を用意させていただいております。

2. 議題

(1) 第7期(前期)活動報告

○座長 みなさんこんばんは。気温差もありますので、体調には気をつけてください。第2回の全体会にお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。

それでは、第7期前期の活動報告の方、事務局の方から説明をお願いします。

○事務局 資料1-2をご覧ください。前期は7月2日に第1回全体会を開催して、それから勉強会、小委員会を3回開催しました。かいつまんで振り返りたいと思います。

第1回の全体会は議事が1番から6番まであります。最初に委員の公募の報告、委員の紹介というところで、公募委員8名、行政委員9名合わせて17名で第7期を始めました。新規に公募委員としてご参加いただきました。

二つ目に設置要綱および運営要領ということで平井川流域連絡会の要綱、要領を説明させていただいて皆様のご承認をいただきました。

三番目に座長副座長の選出は座長に西多摩建設事務所工事第二課長、副座長にあきる野市さんの都市整備部建設課長さんを選出させていただきました。

四番目は第6期の活動報告をさせていただきました。

五番目は第7期の進め方で、その内容は平井川流域連絡会の位置づけ、基本的な考え方を説明させていただきました。流域連絡会の構成も全体会と小委員会を置いて進めるということでご承認をいただきました。スケジュールは全体会を2回、小委員会を4回開催するというので説明しましたが、結果は小委員会を3回、勉強会を1回となりました。

第1回全大会の紹介は以上で、第1回勉強会は9月20日に開催しました。現地視察として全員で現場を歩いて行いましたが、場所は代田橋下流から上流に向かって尾崎橋までの区間を主に管理用通路を歩きながら視察を行いました。

その後、尾崎会館で話し合いして黒丸(●)で主な感想、主

な意見があります。

1つは23年度に湧水の保全の工事を行ったがその保全はうまくいったという意見をいただきました。また、23年度の工事で逆にオギの再生がうまくいってないという意見もいただきました。それから主な意見として白丸で2つかいてあるが、御堂下用水堰の上が淡水域になっていて多様な生物の生息空間となっていてそれをそのままにしておけないかという意見がありました。それから次に管理用通路についてですが本当にあの区間の両岸に通路が必要なのか提唱してほしいという意見があり、堰の撤去のことで管理用通路の設置については次回の小委員会でも説明するというので第1回勉強会は閉会となりました。

次に第1回小委員会は平成24年10月25日に開催しましたがこの時行政委員の人事異動で委員の交代があったのでその紹介をしました。

議題は平成25年度の整備方針、●●先生からのコメントについて、平沢地区の急傾斜地健全度調査の概要ということで、平成25年度の整備方針は瀬戸岡御堂橋の上流右岸側の25年度の工事箇所について説明しましたが、管理用通路と堰のことを説明したがまだ不足ということで第2回小委員会の時に説明することになりました。

先生からのコメントについては、団体公募委員が先生と現場を踏査して先生からの保全対策の提案があったのでそれを団体公募委員から紹介していただきました。

平沢地区の急傾斜地健全度調査の件ですが、高瀬橋の下の方の健全度調査を行うので植物を多少草刈してしまいますのでこういうスケジュール、内容で調査をさせていただくというものを紹介しました。

第2回小委員会が12月11日に開催し、議題は排水施設工事の報告、東京都内の中小河川の今後の整備のあり方の最終報告、平成25年度工事箇所の意見交換で第1回小委員会に引き継いで瀬戸岡御堂橋上流右岸側の整備について意見交換しました。

座長のまとめで管理用通路の必要については25年度の工事を行うに当たってある程度管理用通路の線形、両岸に設置することについて事務局提案で進めさせていただくことになりました。ただし、管理用通路の天端の利用方法などはさらに議論をしていくということで閉会となりました。

第3回は2月6日に開催し、議題は瀬戸岡御堂橋の右岸の管理用通路の整備についてということでこの時、団体公募委員から提案がありました。それから平成26年度の工事箇所について観音橋の上下流の工事予定について説明しました。団体公募委員からの提案の内容ですが通路の設置についてはご了承いただきましたが植栽はどうするかという提案でした。

例えばアズマネザサ、チガヤ、イタドリ、クコなどの提案がありまして、このことについては整備の中に盛り込むことにし、具体的な盛り込みの結果は後ほど紹介させていただきます。

資料1-3は今説明したものを簡単にまとめたもので、市民の方々に平井川流域連絡会の活動を広く紹介をさせていただくための資料です。これからの平井川流域連絡会のPRに活用していきたいと思っております。内容は省略します。

資料1-1ですが、第3回の全体会を6月、9月に第4回小委員会、11月に第5回小委員会、1月に第6回小委員会、3月に第4回全体会を開催して第7期のしめとさせていただきます。

委員の任期が2年なので平成26年の5月に委員募集をさせていただき、6月に委員の決定をして第8期をスタートさせていただきます。

続きまして、資料の1-4の平成25年度工事の平面図・断面図ということで図面を用意しました。前期での活発な意見を取りまとめて作成したものです。護岸の線形について絵のような工事をさせていただきます。●●委員の提案にあったように黄色で塗ったところはチガヤマットを貼る計画をしています。一方、川の下流側において背後地が竹林なので植生マット（種類は郷土種で、イタドリ、ヨモギ、ススキ、メドハギの4種類が含まれる）を貼るということになっています。26年の春にはこれらの植物が生えてきます。竹林の背後地に隣接するのり面のところにアズマネザサを植えることになっています。また、背後地がモウソウチクなのでそこからの根が護岸のほうへ入らないように防竹工（ぼうちくこう）（長さ2mの鉄板みたいなもの）を打ち込んで根が入ってこないようにします（アズマネザサの移植区間のところにはこれを実施する）。堤防側から河川側のところについては（濃い緑色の部分）従来どおりオギの移植、播種そしてクコという提案があった低木を移植していくというこ

とになります。植生は以上ですが管理用通路の天端の部分には幅1.5mの幅で土系の舗装（茶色の部分）をします。平成23年度と同じ舗装材で行います。瀬戸岡御堂橋のスロープ部分については4m幅で舗装の方を実施したいと思っています。残りの部分はどうするかについては植生マットやチガヤマットを貼っていく（法面を保護する）ということになります。工事を行う上で対岸のバス通りのところから工事用搬入路の方へ入っていくという感じになります。

以上で説明終わります。

- 座長 何か質問、意見はありますか？
- 市民委員 クコについて前回も反対したが、クコはとげがあるし、アブラムシがすごいのでもしクコを植えるのであれば消毒しなくても良いのか確認していただきたい。また、イタドリも相当高くなるので視界を悪くするし、草刈してもらえないならいいのですが、そこら辺を検討してもらえないでしょうか。
- 事務局 クコもアズマネザサも高くなるのはわかっているので高くなって視界が悪くなれば草刈はしていきます。
- 座長 市民委員は実際確認してほしいということです。
- 事務局 わかりました。みてみます。
- 座長 イタドリも太くて高くなるし管理用通路が1.5m幅といえども交通障害が考えられる。
- 市民委員 瀬戸岡の方（右岸側）は、交通障害はないと思いますが、逆側（左岸側）をやるときは検討お願いします。
- 事務局 市民委員が言ったのは、右岸側（にクコを植えるのは）はいけど左岸側は考えてねという意味ですか？
- 市民委員 そうではなくて、持ったら結構痛いですし、そんなものをわざわざ植えなくてもいいのではと思います。

- 事務局 密度かなとは思いますが。
- 市民委員 生えたら仕方がないが移植までしないでほしいというのが私の要望です。
- 市民委員 堰の上流側はもともとクコが自生しているところ、自分が入るときは軍手長袖で入るので痛いと感じることはないですが。
- 座長 右岸や左岸側が整備されれば一般の人たちの利用形態が変わると思うのでひとまず右岸側を先に整備して対岸はあとでという手順で今の意見を念頭に置きつつやっていきたいと思います。
- 市民委員 どうしてもというならいいですが、まずは検証をしてもらいたい。
- 事務局 クコの移植といっても群落をつくる気はなく、間を空けて植えます。木製の階段のところには植えないなど事前に確認はしますがそういった工夫はしていきます。
- 座長 今ちょうどいい時期なので明日にでもみてきてください（アブラムシがちょうどいる時期でもありますので）。
- 事務局 わかりました。
- 座長 何かありますか。
- 市民委員 平成25年の工事はいつ頃から始まるのかと土のきりもり全額はどのくらいになるのか、またその処理はどうするのか？
- 事務局 来年度の工事の予定は9月の中旬くらいには業者が決まって本格的に工事が始まるのが早くて10月の中旬でそれから年度いっぱいまでの工事で、3月の末には順調に行けば終わります。土の切り盛りは設計中なのでまた後ほど報告します。

(2) 平成25年度環境調査の予定

○座長 それでは、25年度の環境調査の予定をお願いします。

○事務局 生物調査の内容の説明をします。資料2-1と資料2-2の2枚で説明します。

まずは資料2-1で説明します。全域調査では範囲は今年度と変わらず多摩川合流点から岩井橋の区間で行います。赤字は今年度調査から変更になったまたは追加になった項目ということで示しています。調査項目は現地踏査、河川環境調査、横断構造物、湿地・湧水環境調査、植物相調査、植物群落調査を行います。現地踏査を除いた5つの調査は流域連絡会で以前に決めた5年に1巡ということで今年度はこの5つの調査を行います。

次に事前調査ですが、こちらは資料2-2に平図面で示してあります。①の代田橋下流から日の出橋について今年度は代田橋から瀬戸岡用水堰を調査範囲にしていたが、前回の流域連絡会でも示したとおり、そのさらに上流の観音橋上下流で平成26年度から工事を予定しておりますので来年度からこの区間を含めた代田橋下流から日の出橋までを調査範囲として調査を行いたいと思っています。調査項目は河川環境調査、植物相調査、植物群落調査、カヤネズミ等哺乳類調査、魚類調査、底生動物調査、昆虫類調査で考えています。

②の瀬戸岡御堂橋から瀬戸岡用水堰の範囲では両生類調査は瀬戸岡御道橋上流右岸側で竹林も含めて両生類が生息している可能性があるということで来年度も行いたいと考えてます。

③瀬戸岡御道橋上流右岸は、来年度工事区間ですが、ベルトトランセクト調査、来年度から加えて定点写真撮影を行いたいと考えています。

④観音橋上下流はベルトトランセクト調査を新たに調査項目として加えたいと考えてます。次に事後調査の説明です。こちらは今年度調査と変わりません。

⑤代田橋から瀬戸岡御道橋右岸側は湿地・湧水環境調査、ベルトトランセクト調査、定点写真撮影の3つを考えています。

⑥代田橋上下流では今も工事をしているが、平成24年の工事区間ということでベルトトランセクト調査を考えています。

以上で説明を終わります。

○座長 質問などありますか。

- 市民委員 定点写真撮影は小動物ですか？
- 事務局 植生の状況の変化をみたいと考えています。資料2-2の白の矢印の位置から撮影します。
- 市民委員 ベルトトランセクト調査はどのようなものですか。
- 事務局 川を横断してそこにどんな植物が生えていて高さはどのくらいなのかなど植生の状況を調べるという感じです。
- 行政委員 簡単に言うと横断面に植生を落とすということですね。
- 事務局 そうですね。
- 座長 どのくらいのピッチなんですか。
- 事務局 断面としては、1つの調査範囲に対して2断面を考えています。
- 座長 幅、長さはどうなんですか。100mだったら何断面くらいあるんですか。
- 事務局 2断面です。
- 座長 だとすると50mに1断面ずつにして植生を観察するということですね。
- 事務局 植生が縦断的に変化しているところでやるのでそれが2断面くらいになるということですが。ある範囲の中で植生が縦断的に変化しているところを新たに切るということでもります。
- 座長 じゃあかなり細かくやるのですか。
- 行政委員 2断面で変化があるところに1断面置いてもう一つはまた別のところにやるということでしょう。

- 事務局 そうですね。
- 座長 要は川を輪切りにしてその輪切りの中にどんな植生があるのかを調べるということですね。それは一回ぽっきりですか。
- 事務局 秋に1回です。
- 座長 それを比較するのは次の年に比較するということですね。
- 事務局 そうですね。
- 座長 他に何かありますか。
- 市民委員 河川環境調査と横断構造物調査とは？あと、備考の周期調査の意味がわからないのですが。
- 事務局 河川環境は川の中の淡水域や瀬とか淵とかを現地で調べて平面図上に落としていく作業です。横断構造物は堰であったりそういうものを平面図上に落とす作業です。
周期調査は5年に1度で書いてあるが、1年ごとに調査を変えていくということで、今回の提案調査は5年前に1度やっていてちょうど1巡したということです。
- 座長 その他についてお願いします。
- 事務局 資料4を見てください。平井川の浚渫工事の平面図を示しています。示してあるところは土砂の堆積が著しいため、治水上のことを考えると25年度から工事を実施したいと考えてます。09年の平井川ルールの内容でいくと維持工事や緊急工事には適用しないということで整備の内容を報告することはないんですが今回は500mくらいの部分で調査を実施しようと考えてるが広い範囲を浚渫したいと考えてるので環境調査を事前にしたいということでそれのご提案です。
工事は3カ年に分けてやっていこうと考えている。工事のやる位置を3年ですこしずつ変えてある。範囲が狭いので全域で

やってる調査を5年で1巡ではなくて、1年で5項目をやってしまおうと考えてます。調査時期は同じ時期で考えています。以上です。

○座長 環境調査を今年やっている中で浚渫もやるのか。

○事務局 環境に影響は少ないだろうということと平板の上に土砂がのってしまっているところに関しては浚渫をさせていただきます。はやめに環境調査は入るのでそれによって変更になるようなことがあればまたその段階で考えますが、今のところはこの計画でやろうと思います。

以降渇水期や搬入路に関して説明がある（基本的に工期は必要ない、正月前後に浚渫工事をやるなど話す）。

諏訪下橋上流で河床勾配がきつい点は平成20年度にゾーニングでやっていて5年間でたまり続けているのでここらでやりたい。

その後事業区間でも工事ができるのかについて少し数人議論あり。菅瀬橋の勾配や水害についての話が座長よりあり→事業区間でも浚渫する可能性はある。

○市民委員 調査範囲はどのくらい。断面にして土砂はどのくらいの量堆積しているのか。

○事務局 測量してないのでまだなんともいえません。また、改めて浚渫量はお知らせします。

○事務局 これで特に何もなければ4月の上旬には契約手続きに入らせていただきたい。

○市民委員 浚渫した土はどうするのか。

○事務局 どっかにもってくことができなさそうなので処分すると思います。

○座長 最後に何か全体を通して何かありますか。

○市民委員 工事搬入路の具体的な場所についてや地元について説明するの
か

○事務局 浚渫量や工事計画が具体的に決まり、工事が行えることにな
ったら地元の説明は行います。

○座長 予定していることは以上です。事務局返します。

(3) その他

○事務局 次回は6月に全体会で案内します。

3. 閉会

○座長 それでは終わります。